

International General Certificate of Secondary Education  
**UNIVERSITY OF CAMBRIDGE LOCAL EXAMINATIONS SYNDICATE**  
**FIRST LANGUAGE JAPANESE** **0507/2**  
PAPER 2 Reading and Directed Writing  
**MAY/JUNE SESSION 2000** 2 hours 15 minutes

Candidates answer on the enclosed answer booklet.  
No additional materials are required.

**TIME** 2 hours 15 minutes

**INSTRUCTIONS TO CANDIDATES**

Write your name, Centre number and candidate number in the spaces provided on the answer booklet.

Answer **all** questions.

Write your answers in the separate answer booklet provided.

**INFORMATION FOR CANDIDATES**

The number of marks is given in brackets [ ] at the end of each question or part question.

**受験生への諸注意**

解答用紙の該当欄に、氏名・センター番号・受験番号を記入しなさい。

すべての問題に答えなさい。

解答は、解答用紙の解答欄に記入しなさい。

**受験生への補足説明**

各設問の最後の [ ] 内が、各々の配点である。

---

**This question paper consists of 7 printed pages, 1 blank page and an inserted answer booklet.**

## パート1

次の【A】・【B】の二つの文章を読んで、後の問に答えなさい。

## 【A】

劣等感のない人はいないと思うが、人間はなぜ劣等感をもつのであろうか。それは他者と自分とを比較するからである。ではなぜ人間は他者と自分を比較するのであろうか。他者と自分とを比較するのをやめれば、たちどころに劣等感なんかなくなってしまうのであろうか、それがやめられないのはなぜであろうか。それは、人間にとって自分というもの——自我と呼んでもいいが——がそもそも他者との比較の上に成り立っており、他者がいないとすれば、自分も存在しなくなるからである。われわれは自分が他者にとって何であるか——親にとって子であり、男(女)にとって女(男)であり、患者にとって医者であり、友人にとって友人であり、優者にとって劣者であり、劣者にとって優者であり、等々——ということによって、自分のアイデンティティを見出し、世界のなかにおける自分の位置を見定めることができるのであり、われわれの存在は他者によって支えられているのである。他者の支えがなくなれば、われわれの自我は空中分解する。したがって、劣等感に苦しんでいる者に、人のことなどどうだっていいではないか、人が自分より優れているように劣っているように気にすることはないではないか、自分は自分ではないか、みずから自分を省みてそれでいいと思えるなら、それでいいではないか、などと言ってみたところで、説得力はないであろう。

しかし、上を見ればキリがなく、下を見ればキリがなく、自分より優れている者もいっぱいいるけれども、劣っている者もいっぱいいるわけで、それなら、いつも自分より劣っている者と自分を比較して優越感だけもっていればいいのに、われわれはともすれば、自分より優れている者と自分を比較し、わざわざ苦しい劣等感に<sup>とら</sup>われるのはなぜであろうか。自分より優れている他者とは一体、誰であろうか。それは、実のところ、他者ではなくて自分なのである。自分だからこそ、気にしないことができるのでないのである。

劣等感<sup>は</sup>人間につきものみたいなものであるから、劣等感から決定的に解放される方法はないであろう。もしただ一つ、その方法があるとすれば、自分より優れている人たちを自分とは関係のない別の世界の人たちと見なして、あきらめることであろう。昔の庶民は貴族に対して別に劣等感もっていなかったであろう。ところが、現代は平等主義の時代で、タテマエとしてはすべての人が平等に何にでもなれることになっているから、現代人は昔の人より劣等感に苦しんでいるのであろう。別に平等主義がいけないとは言わないが、人びとの劣等感を大いに刺激し、増大させたことは間違いない。また、おとなと青年をくらべてみると、青年は将来に希望をもち、いろいろな者になれる可能性をまだあきらめていないことが多いであろうから、おとなよりも青年のほうが劣等感が一般に強いであろう。

しかし、すべてにあきらめてしまつて劣等感をもたなくなつたら人間はやる事がなくなるのではなかろうか。嫉妬は人間のもっとも強い感情であり、劣等感補償は人間行動の最大の動機である。人が言ったりしたりしていることの大半は、むずかしい複雑なことを考えなくても、嫉妬と劣等感補償が動機ではないかという仮説を立てれば明快に説明がつく。

岸田秀「劣等感について」

## 【B】

その頃の俺は、くたくたで毎日帰ってくるオモニ (かあちゃん) のため息を聞きながら、大きくなっ 1  
たら俺がオモニのめんどうをみるんだ、というような事をもらしていた。

ところが、小学校の二、三年にもなると、読み書きや計算などを学ぶ事によって、オモニに対する 5  
差別がはじまったと思う。日本語を話せばめちゃくちゃ、文字は書けない、計算もできない。この頃  
から俺は、オモニをバカだと思えるようになっていった。だから人前には出したくなかった。友達にも  
絶対に見せたくはなかった。

この時の俺は、オモニの子供ではなかった。もしオモニの子供であったとしたら、俺はこんな事は 10  
しない。あたりまえの人間だったらこんな事はしない。あたりまえの人間になりたいのに、なれない  
のは、俺が朝鮮人であるからだ、朝鮮人はあたりまえの人間ではないと、小さい頃から感じさせられ  
てきていた。そのために、朝鮮人として産んだオモニをうらんだ。この頃は、無性に日本人になりた  
かった。

それから俺の長い南葛<sup>なんかつ</sup>の高校時代が始まった。まず受験前に木川先生は、俺に学校で本名を名のれ 15  
と言った。あの時の気持ちはよく言いあらわせないくらいかなりの衝撃だった。「俺は今まで『木村』  
という名前で生きてきたんだ」と木川先生に言っただろう。俺はもう二度とこんな学校へは行かない  
と誓った。

そんな俺にも本名で正直な俺を見せる時がきた。バイクで警察につかまり、親友の宇野と二人で交 20  
番へつれていかれたが、その帰りに酒を飲みに行った。宇野には何度本名を名のろうとしたか、数し  
れない。丁度いいきっかけができたのだ。交番で免許証を見せた時、俺が朝鮮人である事を宇野は気  
づいたと思い、「さっきの免許証でわかったろ、俺が朝鮮人である事が」と言うと、宇野はたしか、  
「気にするなよ」と言ったと思う。この時の俺は気持ちがホーッとした。しかし今思うと、実に日本  
人というのは、言うことがいっしょだ。だれもが言うその言葉は、朝鮮人としての俺の事は何も考え  
ていない言葉だと思う。

本名で入ってみて、何か頭の中で考えていた以上に、南葛<sup>なんかつ</sup>の生徒は「パクさん」とよってくるので、 25  
あんなにいろいろ深刻に悩まなくてもよかったのになと思った。とにかく名のってよかった。名のら  
なければ中学の時のように、朝鮮から逃げ続けていたのではないかと思う。

南葛<sup>なんかつ</sup>で演劇の発表があった。

あの時、俺は不安だらけだった。なにしろ舞台上に立つのは初めてだし、演劇のテーマは朝鮮問題だ 30  
ったし大ぜいの前で、朝鮮人の俺が、朝鮮人のサンファという人を演じるわけだから。そして、初め  
て着る民族衣装。

この時の、すごく緊張した、熱い気持ちが、隠れていたパク、隠されていた俺をひきだしてくれた。 30  
翌日、さっそく社長に自分の免許証を見せて、朝鮮人であることを明らかにした。またその三か月後  
に、前から木川先生に言われていたこともあって、社長と一緒に営業で回ってる時に、いい機会だど  
思っ「これからパクと呼んで下さい」と言った。

朴正雄「うそのない朝鮮人の俺をみてくれ」

注 南葛は南葛飾高校のこと

## 4

- 1 二つの文章を読んで、それぞれの筆者の見方、考え方について、思うことやあなたの考えを600字程度でまとめなさい。

[20]

### パート2

- 2 クラスの討論会であなたは国連のあり方について、スピーチをすることになりました。「国連」のあり方、考え方に対し、賛否の立場をはっきりさせ、あなたの考えを600字～800字程度で書きなさい。

[20]

## パート3

問 次の文の空欄(3～7)に入れるのもっとも適するものをそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- 3 上手に\_\_\_\_\_人のことを「聞き上手」といいます。  
 ア あいづちをうつ      イ けちをつける  
 ウ こまをする          エ 口を出す
- 4 運動会の日はよく\_\_\_\_\_を使って学校を休んだ。  
 ア 仮病      イ 病気      ウ 風邪      エ けが
- 5 苦勞に満ちた父の人生は涙なくしては\_\_\_\_\_。  
 ア 語る      イ 語れる      ウ 語らない      エ 語れない
- 6 母は手術後回復したかと思いきや病状は\_\_\_\_\_。  
 ア 少しずつ良くなった      イ 少しずつ健康になっていった  
 ウ 予想したとおり悪化した      エ またしても悪化していった
- 7 私の叔父はね、ふだんはとてもいい性格なんだけど、お酒をちょっとでも飲むと他人の悪口を言い始めて最後には泣き出す\_\_\_\_\_なんだよ。  
 ア 終始      イ 始末      ウ 結末      エ 始終

[5]

問 次の(8～12)の漢字についてもう一つの訓読みを書きなさい。

- 8 集(あつ)まる      集(      )う
- 9 著(いちじる)しい      著(      )す
- 10 交(まじわ)る      交(      )わす
- 11 汚(きたな)い      汚(      )す
- 12 凍(こお)る      凍(      )える

[5]

問 次の13～17の□に漢数字を入れて四字熟語を完成させなさい。

13 一石□鳥      14 一日□秋      15 三々□々

16 十人□色      17 四苦□苦

[5]

問 次の18～22の下線の言い方を尊敬語または謙譲語で書き改めなさい。

18 お客様にはこちらの着物がお似合いだと思いますが、一度着てみませんか。

19 第一中学校の中村先生を知っていますか。

20 ご注文の品ができあがりまりましたので、明日お届けに行ってもいいでしょうか。

21 ご用件、確かに聞きました。

22 皆様、どうぞ左手の方を見てください。

[5]

**BLANK PAGE**

---

Copyright Acknowledgements

Part 1a © Shu Kishida; Inferiority; Bungei Shunju, 1993

Part 1b Extract © Chuon Paku Takeji Hayash "Look at me I'm Korean", Salvation by School Lessons; Komichi Shobo 1993